

# これからの 健康的な家づくりの 基準は「NE-STな家」。



## NE-ST

とっとり健康省エネ住宅

高断熱・高気密な家づくりにより、健康的で快適な暮らしができることがわかってきました。そこで鳥取県では、独自の高断熱・高気密住宅の基準を設けました。家から健康になる「NE-STな家」づくりを、鳥取県からはじめていきましょう。  
※「NE-ST」は、NEXT STANDARD（これからの時代の標準）の頭文字から名付けました。

「NE-STな家」とは、

- 高断熱・高気密（そして適正な気流と換気）の家。
- 隙間が少ないので、いちど冷暖房した温度を外に逃がしにくい。
- より少ない光熱費で経済的に家の中をまるごと冷暖房できる。
- 隙間から冷気が入り込まず、結露によるカビなどで空気を汚さない。
- 家の中の室温差が少ない。
- 家全体が暮らしやすい温度に保たれるので、より活動的になれる。

# とっとり健康省エネ住宅『NE-ST』の認定・助成がスタートします

県では、県民の健康維持・増進及びCO2の削減を図ることを目的に、戸建住宅の新築における県独自の省エネ基準となる健康省エネ住宅性能基準を制定し、7月1日から基準を満たす住宅を認定し助成します。

## とっとり健康省エネ住宅性能基準

※「住まいる」とは“とっとり住まいる支援事業”の略称であり、県内工務店により一定以上の県産材を活用する新築戸建て住宅が対象となる補助金です。

区分	国の省エネ基準	ZEH (ゼッチ)	とっとり健康省エネ住宅性能基準		
			T-G1	T-G2	T-G3
備考	次世代基準 (H11年)	2020年標準 政府推進	冷暖房費を抑えるために必要な最低限のレベル	経済的で快適に生活できる推奨レベル	優れた快適性を有する最高レベル
断熱性能 $U_A$ 値 [W/m <sup>2</sup> K]	0.87	0.60	0.48	0.34	0.23
気密性能 C値 [cm <sup>2</sup> /m <sup>2</sup> ]	—	—	1.0	1.0	1.0
冷暖房費削減率	0%	約10%削減	約30%削減	約50%削減	約70%削減
住まいる上乗せ額	—	—	定額10万円	定額30万円	定額50万円
住まいる最大助成額	—	—	最大110万円	最大130万円	最大150万円
世界の省エネ基準( $U_A$ 値)との比較					

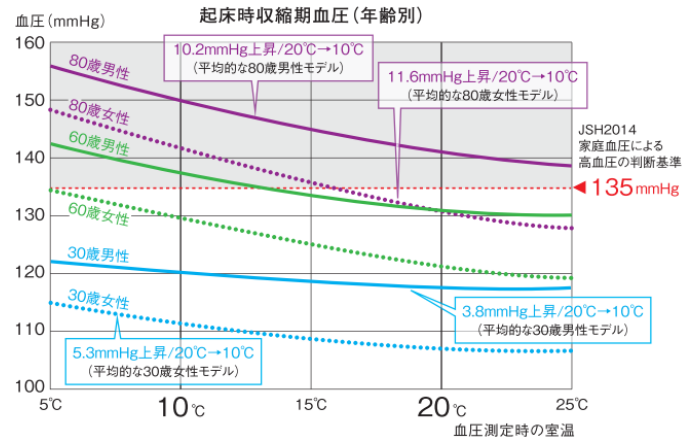
## 健康への効果

高气密・高断熱の高い家は年間を通じて家全体の温度が安定します。

家の中の温度と血圧の関係の調査では、室温が20℃の場合と10℃の場合では血圧に大きな影響を及ぼすことがわかります。

その他、アトピーやアレルギーの改善など様々な健康効果が実証されてきています。

家から健康になる『NE-ST』な家づくりを鳥取県からはじめましょう。



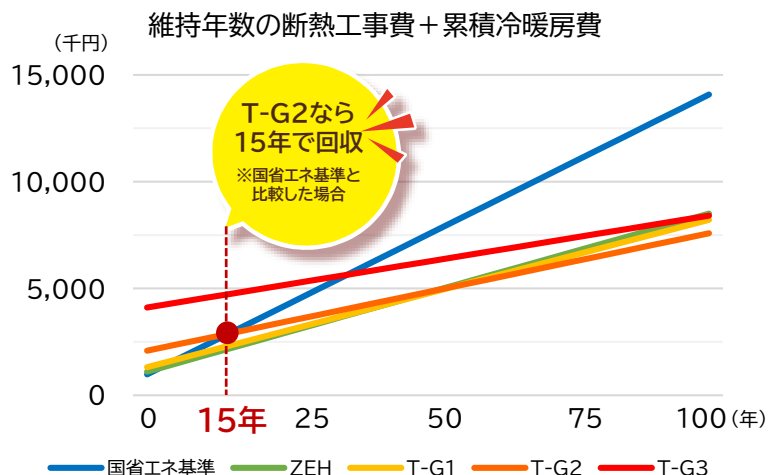
## コスト削減効果

断熱を高めるために工事費はあがりますが、冷暖房費の削減により回収できます。

県では少ない冷暖房費で快適に過ごせる『T-G2』を推奨します。

完成時には住まいる支援事業による補助金もありますので、さらに工事費の負担額は軽減されます。

未来を担う子どものために、いつまでも経済的に快適に生活できる『NE-ST』な家が増えることで、地球環境の保全にもつながります。



## お問合せ

県庁住まいまちづくり課

〒680-0857 鳥取市東町一丁目220番地

電話:0857-26-7398 ファクシミリ:0857-26-8113

Eメール:sumaimachizukuri@pref.tottori.lg.jp

認定制度・補助制度等の詳細につきましては  
県庁ホームページをご覧ください

とっとり健康省エネ

検索

